

新型コロナウイルス感染症対策(第5弾)

(令和2年第3回定例市議会提案分)

令和2年(2020年)9月16日

札幌市

新型コロナウイルス感染症対策(第5弾)

現 状

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の市内における状況は、小規模なクラスターが断続的に発生するなど、いまだ収束を見通すことが困難
- ◆ 今後、インフルエンザの流行期を迎えることもあり、医療提供体制の強化と、さらなる感染拡大の防止に取り組むことが必要
- ◆ 「北海道スタイル」を踏まえた経済活動の段階的な回復が進められているが、市内経済の回復には時間がかかることが見込まれ、厳しい経済状況が続くことが予想される。

対策の考え方

- ◆ 今冬のインフルエンザの流行期に備え、引き続き、医療提供体制と感染拡大防止の強化に取り組む。
- ◆ さらなる社会経済活動の回復に向けて、事業者等の事業継続・活動再開に対する支援や、落ち込みが懸念される冬期の観光需要の喚起に積極的に取り組む。

各フェーズにおける対応イメージ

新北海道スタイルの実践

緊急支援フェーズ

社会経済活動再開フェーズ

「新たな日常」

感染症拡大の収束に目途
がつくまでの取組

感染拡大防止と両立し得る
段階的な経済活動の再開

「ウィズコロナ」を前提
とした社会構造への転換

医療提供体制の強化

感染拡大の防止

事業の継続と雇用の維持

市民生活を守る取り組み

観光需要の回復

経済活動の再開を
見据えた基盤づくり

市内消費の回復

- ・感染症に強い
社会構造を確立
- ・安心して市民生活
や社会経済活動を
営むことができる街
の実現へ

対策第1弾～第4弾
(1臨補正～3臨補正)

対策第5弾(3定補正)

コロナ対策第5弾

※「対策規模」は今回の補正予算額に加え、令和元年度及び2年度の既往予算による対応額や融資枠の拡大分等を含めた金額です

令和2年第3回定例市議会（新型コロナ対応分）
補正予算 全会計 470億円（一般会計 465億円）

対策規模		
これまで	第5弾	合計
3,244億円	663億円	3,907億円

1 必要な医療の提供と感染拡大防止のために 68億円

対策規模		
これまで	第5弾	合計
137億円	62億円	199億円

<医療提供体制の強化> 47億円

- ◆発熱患者の受入協力医療機関への補助【1,272百万円】
 - ・インフルエンザ流行期の発熱患者に対応する協力医療機関の受入体制整備等に対して、対応する内容に応じて最大1,000万円を補助
- ◆高齢者インフルエンザ予防接種に必要な経費の追加【821百万円】
 - ・インフルエンザワクチンの高齢者への優先接種を実施することに伴い、希望者全員が接種できるよう必要な助成費を確保
- ◆PCR検査・抗原検査、電話相談窓口の体制拡充【1,464百万円】
 - ・最大受入数3,900件/日を目指した検査体制の拡充

<感染拡大の防止> 21億円

- ◆すすきの地区の飲食店等に対する感染防止対策支援の拡大【438百万円】
 - ・支援金（最大25万円）の申請対象をすすきの地区全体の事業者に拡大（500事業者→2,100事業者）
- ◆福祉施設における感染防止対策への支援【1,445百万円】
 - ・介護施設等における簡易陰圧装置の設置及び保育所・児童会館における衛生用品購入等の経費を補助
- ◆感染症対策を踏まえた避難所備蓄物資の増強【108百万円】
 - ・避難所用パーテーション、消毒用アルコール等の備蓄物資の増強

2 事業の継続と雇用の維持、生活を支えるために **372億円**

対策規模		
これまで	第5弾	合計
2,999億円	571億円	3,570億円

<中小・小規模事業者等に対する支援> 364億円

◆市内中小企業向け融資の融資枠拡充等【35,812百万円】

- ・中小企業の運転資金支援のための融資枠の拡充及び信用保証料の補給を実施
(融資枠：800億円→**約1,300億円**)

◆文化・芸術活動の再開支援【280百万円】

- ・公演や展示の主催者に対して、上限額の範囲内で施設利用料の**50%**を補助
(上限額：(公演) 50万円/日、(展示) 50万円/週)

<離職者、求職者等への支援> 4億円

◆生活困窮者に対する住居確保給付金の追加【370百万円】

- ・離職等により経済的に困窮し、住居を失うおそれがある方等を対象とした住居確保給付金の経費を追加

◆新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた合同企業説明会等の実施【33百万円】

- ・幅広い年齢層が参加できる合同企業説明会やテレワーク機器の展示会等を実施

<市民生活への支援> 4億円

◆子どもたちのウィンタースポーツ体験機会の確保【200百万円】

- ・スキー場リフト料金助成の拡大 (対象者：小学3～6年→**全小中学生**)
- ・スキー授業における3密対策のバス増便に対する支援

◆ICTを活用した教育（GIGAスクール）の推進【100百万円】

- ・来年4月からの本格実施に向けて、モデル校での実証研究や教員向け研修等を推進
(GIGAスクールサポーターの配置)

3 経済活動の回復のために 30億円

対策規模		
これまで	第5弾	合計
108億円	30億円	138億円

国のGoToキャンペーン実施後の観光需要の喚起

◆市内宿泊促進キャンペーン（2月から実施予定）【2,910百万円】

- ・市内宿泊施設で宿泊する際の宿泊代金の割引キャンペーンを実施
（割引額：5,000円×40万人）
- ・市内宿泊施設で宿泊された方に市内の飲食店等で使える割引クーポンを配布
（配布額：2,000円×40万人）

◆市内観光施設の無料キャンペーン【114百万円】

- ・2/1～2/28の1か月間、市内観光施設の入場料等を無料化
（対象施設：時計台、テレビ塔、藻岩山、大倉山、羊ヶ丘展望台など）

コロナ対策第5弾の主要な財源

- ・国庫支出金 42億円
（内、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 26億円）
- ・道支出金 25億円
- ・一般財源 67億円（内、財政調整基金 37億円）